



みんなのできる 地球温暖化防止活動

— 地域集落のみんなが推進員活動を実践していきます!! —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人つくしまNPOネットワーク)

■御蔵入三十三観音第21番札所

御蔵入（おくらいり）三十三観音第21番札所の龍福寺は、源義経が奥州平泉へ落ち延びる途中で、人目を避けて投宿したことで知られています。1189（文治5）年とのことです。「龍福寺の桜は、糸沢集落のシンボルで、春普請の後に大勢の村民が集まり、桜を囲んで宴会をしていました。ずいぶん昔のことですが……」南会津町にお住いの福島県地球温暖化防止活動推進員の湯田芳博さんは仲間たちと「愛tworldみなみ」という団体を設立し、地域集落力の維持向上に努めています。

■推進員になったきっかけ

「大震災があった2011年の7月、新潟・福島豪雨で、南会津町の多くの地域で土砂崩れや川の氾濫など大きな被害がありました。数年前からは、局所的な降雨水害が連続的に発生し、昨年8月18日には記録

的短時間大雨情報が発表されました。」

そんな時、推進員になっていた仲間に誘われ、他の仲間たちと推進員養成研修会を受講して委嘱申請をし、2024年4月1日に委嘱される予定です。

■農業技術の実践と食生活の改善

「地球温暖化は豪雨被害などをもたらしますが、一方で豪雪地帯の南会津町なのに、降雪が少なく農業用水が不足する事態が起きています。何か、変です。愛tworldみなみ主催で、気候変動と地球温暖化防止に関する勉強会を開催しました。」

遊休農地を有機農法により耕作地にするための技術指導を行ったり、食生活のスタイルを改善するなど、農業と食を通じた南会津らしい地球温暖化防止活動を、事業として体系化していきたいとのこと。

■みんなのできる地球温暖化防止活動

「空き家や空き店舗は、地域の『ぶらっとフォーラム』です。地域の人たちの課題や悩みの相談に応じ、地球温暖化防止の推進に向けた啓発活動に力を入れていきます。」循環する自然の摂理を大切に、共助の模範とされてきた地域集落力の維持と向上を目指して活動していくとのこと。推進員の活動と地域づくりの活動が、深く結びついていることを教えていただきました。(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>